

千寿の郷 かわら版 6月号

介護老人保健施設 千寿の郷

足立区柳原2-33-6

TEL 03-3870-4621

FAX 03-3870-5228

2019年6月10日 268号

ホームページ ⇒ <http://senjunosato.kenwa.or.jp/> ☆千寿の郷ブログ☆絶賛更新中。

Twitter⇒<https://mobile.twitter.com/senjunosato>

ホームページよりアクセスしてください！



利用者紹介

小栗 幹生様 (81歳)

今回は2階を利用されている小栗様に戦争についてお伺いしました。以下インタビュー内容です。
唯一戦争をしないと宣言した国・日本 小栗幹生 1938年生まれ。現在81歳。

私は名古屋の大洲生まれであり、喫茶店「ドン」を営んでいた両親の間に生まれました。当時、7歳だった頃に名古屋での空襲を初めて体験。空襲の被害で線路が4~5m程ぐにゃっと曲がっていた光景がとても衝撃的でした。空襲によって辺りいったいは火の海と化していました。家の焼け跡からは子供を抱いた母親が守るようにして突っ伏して、ひっくり返すと2人とも亡くなっていたのを今でも忘れません。戦争で10歳以下の浮浪児が生き残っても食べ物も全くなく、栄養失調になってしまう…。思い出したくもない…。

1948年名古屋には食べ物がなかったために一家で東京に移りました。当時の上野は道路に人がずらっと寝ている状態で闇市では腐る一手前のものが取引きされており、駅では食べ物を持っている人から食べ物をかっぱらって食べていた人もいました。

満州から兵隊が引き上げてきて日本は貧しく厳しい状態で米、酒、たばこは配給制で通帳がないと買えません。食事はわずかなご飯が底にあってあとはつゆばかり。カボチャやさつまいもを食べてみんな飢えをしのいでいました。昔はお金に価値は無く、母親の着物などを食べ物と交換していました。

戦争はいかなる理由があってもしてはいけない。日本は唯一の被爆国でありながら大国の言いなりになり尻尾をふっている。こんな政府は我慢ならない。これが国民に優しい政府といえるのだろうか？

人間としての価値を失う犯罪が次々と異常なほど起きている。生きる目標を失っているのでは？戦争は人々を殺し合いだ。どんなことがあっても犯罪で裁かれる以外で人が殺されるようなことがあってはならない。ひとを支配しようとする国があるならばそれが戦争につながっていく。自分の国さえよければいいという考え方を改めて欲しい。

戦争を知らない人に伝えたい。戦争を知っているかで今後の日本の方向が変わってくる。そういう過去があったこと、戦争がいかに恐ろしいものかを知ってもらいたい。

堀切菖蒲園

2019年6月3日より今年も堀切菖蒲園への外出を入所利用者様方へ開催しています！
今年は例年以上に菖蒲がキレイに咲いており、行かれた利用者様からも良かったとの声が聞かれておりました。
今年の夏もとても暑くなることが予測されます。
皆さまも暑さに負けずに頑張りましょう！



6月のフラワーアレンジメント

テーマ

「座ってもヒヤクヤク」

花の名前

- ・ムクゲ
- ・ヒヤクヤク
- ・カーネーション
- ・スターチス



《6月の行事予定》

- 7日(金) 習字
- 10日(月) 新舞踊
- 13日(木) ちぎり絵
- 15日(土) 菊呂会
- 19日(水) あめんぼサークル
- 22日(土) 習字
- 26日(水) フラダンス
- 27日(木) ちぎり絵
- 28日(金) フラワーアレンジメント
- 毎週(木) コーヒーサービス



ポンス合唱

5月18日(土)に足立区千住で活動されているポンス合唱が初めてボランティアとして遊びに来てくれました。
皆さん素敵な歌声で歌って下さり、フロア中に響いておりました。
また時間があるときに来てくれるとのことで楽しみにしたいと思います！



冬終わり 衣替えなの 春はなく 夏服たちが 俺らの世界
体温計 一喜一憂 朝夕に
おしゃべりも 妬み嫉みに 力尽き
化粧とは 化けるのではなく 身だしなみ
通所利用者 久保田 珠恵様

季節の言葉〜水無月〜